様式第３号

事務事業評価表（平成２９年度）

事業コード	1556	課コード	0506	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	障害者福祉センター事業	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	障害者福祉センターの維持管理	②部課名	健康福祉部・障害者福祉センター
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2 人　（換算人数　0.5 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）16,784 千円　（うち人件費　4,400 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	あらき園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。		事業目的	市内の障害者の訓練施設として、効率的に訓練できるよう、施設の維持管理をする。
(3)事業内容	内　容	効率的に訓練できるよう施設の維持管理をするため、施設の改修修繕、設備の保守点検、清掃委託、草刈委託等を実施する。		当該年度執行計画	年間を通じて、機能が維持できるよう定期的に維持管理する。 定期的に安全点検を実施し、危険箇所については速やかに改修する。 既存物置アンカー固定工事を行う。 フェンス設置・既存物置撤去工事を行う。 廊下、玄関ホール、トイレ前通路にGHPの室内機13台、室外機1台を設置する（設置工事5月～7月、リース開始8月）。
				当該年度活動結果指標	施設の維持管理率　単位　%　想定値　100　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ	直接	施設の維持管理率（修繕実施箇所／必要修繕箇所）	%	100	100
３年後	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ	直接	施設の維持管理率（修繕実施箇所／必要修繕箇所）	%	0	100
最終(概ね５年後)	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ	直接	施設の維持管理率（修繕実施箇所／必要修繕箇所）	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応		代替案検討	○有　●無

(8)施行事項　実施内容　費　用

平成２８年度 政策	内　容	金額(千円)	平成２９年度 政策	内　容	金額(千円)	実績値(千円)	平成３０年度 政策	内　容	金額(千円)	平成３１年度 政策	内　容	金額(千円)
	消耗品費	24		消耗品費	33			消耗品費	33		消耗品費	33
	光熱水費	6,683		光熱水費	4,988			光熱水費	4,988		光熱水費	4,988
	施設修繕料	1,176		施設修繕料	206			施設修繕料	206		施設修繕料	206
	通信運搬費	98		通信運搬費	98			通信運搬費	98		通信運搬費	98
	清掃委託料	1,330		清掃委託料	1,333			清掃委託料	1,333		清掃委託料	1,333
	草刈委託料	106		草刈委託料	107			草刈委託料	107		草刈委託料	107
	樹木管理委託料	65		樹木管理委託料	50			樹木管理委託料	65		樹木管理委託料	65
	放送受信料	15		放送受信料	15			放送受信料	15		放送受信料	15
	空調設備リース料	3,934		空調設備リース料	3,934			空調設備リース料	3,934		空調設備リース料	3,934
＊	空調設備設置工事設計業務委託料	1,009	＊	空調設備リース料増設分（H29.8～H30.3）	1,225			空調設備リース料増設分（債務負担H30.4～H39.7）	1,837		空調設備リース料増設分（債務負担H30.4～H39.7）	1,837
＊	給食室トイレ改修工事	746		既存物置アンカー固定工事費	200							
	給食室空調循環下り壁設置工事	61		フェンス・既存物置撤去工事費	195							
予算(済)額	合　計	15,247		合　計	12,384			合　計	12,616		合　計	12,616
国庫支出金	補助率　0 %	0		補助率　0 %	0			補助率　0 %	0		補助率　0 %	0
県支出金	補助率　0 %	0		補助率　0 %	0			補助率　0 %	0		補助率　0 %	0
起債	充当率　0 %	0		充当率　0 %	0			充当率　0 %	0		充当率　0 %	0
一般財源		15,247			12,384				10,779			10,779
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			□特会 □受益 ■債務 □基金 □その他	1,837		□特会 □受益 ■債務 □基金 □その他	1,837
換算人数(人)		0.5			0.5				0.5			0.5
正職員人件費		4,400			4,400				4,400			4,400
嘱託職員報酬額		0			0				0			0
臨時職員賃金額		0			0				0			0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)		19,647			16,784				17,016			17,016
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		196.47千円／%			167.84千円／%							

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	障害者の訓練施設として、設備の保守点検・改修・修繕を行い、施設の機能維持をはかることは、市としての責務である。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 取組む内容：エコプロジェクトの指導により、節電及びコピー用紙のリサイクル等、施設として環境負担軽減に取り組んでいる。 ＜その他の内容＞	実施した具体的な内容 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要

効率性

(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック	達成状況 実績値(f)(%)	達成率(%)(f/b×100)	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞ ○要 ○不要

(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	実施予定の対策	実施状況 実績値(g)(千円)	対事業費(%)(g/c)×100		事業費の削減対策について	
	16,784	2,863	14.57	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞			○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要

(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)	単位	費用単位	計算方法	達成状況 実績値(h)	対目標値(%)(h/e)×100		
	0.6	%	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞ ○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向